



旭川市



Let's 農! あさひかわ

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

旭川市民農業大学運営委員会, 子ども農業体験塾運営委員会 【旭川市】

「農業者」と「消費者」のよきパートナーシップづくり

はじめは？

近年、都市化や核家族化が進む中で、都市部の市民の農業・農村に対する関心は必ずしも高いものとなっておらず、土に触れる機会も少なく、食卓に並ぶ農産物がどのような手間をかけられ、どのように育ったものであるかあまり知られていません。旭川市では、市民の農業・農村・食糧への関心と理解を深めることを目的として、市内の農業者と旭川市が運営委員となり、市民農業ふれあい事業を行っています。この市民農業ふれあい事業には、大人向けの「旭川市民農業大学(H7～)」と学童向けの「子ども農業体験塾(H12～)」があり、それぞれ一年単位で受講者を募り通年で農作業や農産加工実習、講義などを行うプログラムとなっています。

おもな活動

■「旭川市民農業大学」の活動内容

旭川市民農業大学年間プログラム	
実施時期	実施内容
3月末	入学式
4～10月(月1回)	定例講座
7月	バス研修
10月	農業文化講座
11月	収穫祭
1月	農産加工実習
2月	体験発表会
3月末	修了式



漬け物づくり講座

■「子ども農業体験塾」の活動内容(市内の小学4～6年)

子ども農業体験塾年間プログラム	
実施時期	実施内容
5月上旬	入学式
5月下旬	田植え体験
8月	ハーブ収穫体験
9月上旬	酪農体験
9月下旬	稲刈り体験
10月	果樹収穫体験
11月	収穫祭・修了式



小学生たちの田植え体験

ここが自慢

【農業体験で消費者と結ぶ活動】

■「旭川市民農業大学」は、開講二年目以降、内外で大きな反響を呼び、この事業が目指す、信頼に裏付けられた「農業者と消費者」のよきパートナーシップづくりに大きく貢献しています。また、農業者と消費者が一緒になって汗を流し、旭川市の農業・農村の在り方を追求していくことは、将来農業をやってみたいと考えている市民へ営農のノウハウや情報を提供できる場ともなっています。

■「子ども農業体験塾」では、水稻・園芸・酪農等の農業体験を通じて「旭川の農業」や「食」「命の大切さ」について考える学習機会を提供する場となっており、参加者やその保護者からは「地元の農業に関心を持つようになった」などの声を頂いています。北海道教育大学旭川校の学生がボランティアスタッフとして参加しており、小学生・大学生・農業者の異世代間交流も重要な要素となっています。

連絡先

代表者名 : 浅野晃彦さん / 設立 : 1995年 / 会員 : 14名

住所 : 旭川市上常盤町1 水道局庁舎4F農政課内

電話番号 : 0166-25-7417 (旭川市農政課 堀池・櫻庭)

F A X : 0166-26-8624

E-mail : nougyoudaigaku@city.asahikawa.hokkaido.jp

U R L : -